

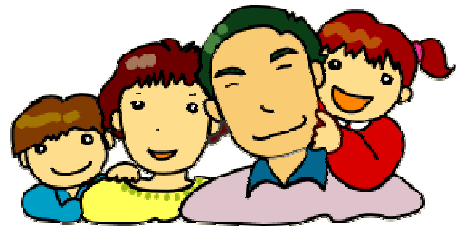
シックハウス対策、こんなところに気を付けましょう！

生活上のチェックポイント

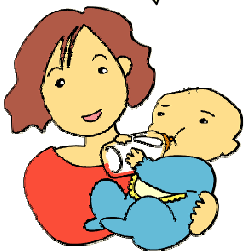
適切な換気をこころがける。
化学物質の発生源となるものをなるべく減らす。

建築基準法さえ守ればシックハウス対策は十分，というわけではありません。住宅選びに当たっては，トルエン，キシレンなど他の化学物質対策もしっかりチェックしましょう。また，家具や防虫剤，化粧品，タバコ，ストーブなども化学物質の発生源となります。身の回りの日用品や換気など，住まい方にも充分気をつけましょう。

シックハウス対策って建材の品質や換気設備以外でも，日用品などにも気を付けなくちゃ。



私たちがシックハウス対策を考えて生活することが大切なのね。



化学物質の主な発生源

天井	家具	洗剤
壁	カーテン	化粧品，香水，整髪料
床	ストーブ	調理器具の燃焼ガス
畳	タバコ	防虫剤，芳香剤，消臭剤
じゅうたん	家具や床に塗るワックス等	

室内の換気はこんなところに気をつけましょう！

24時間換気システムのスイッチは切らずに，常に運転するようにする。

新築やリフォーム当初は，室内の化学物質の発生が多いのでしばらくの間は，換気や通風を十分行うように心がける。

特に夏は化学物質の発散が増えるので室内が著しく高温多湿となる場合（室温28℃，相対湿度50%超が目安）には窓を閉め切らないようにする。

窓を開けて換気する場合には，複数の窓を開けて，汚染空気を排出するとともに新鮮な空気を室内に導入するようにする。

換気設備はフィルターの清掃など定期的に維持管理する。

化学物質の発生源はこんなところに気をつけましょう！

新しい家具やカーテン，じゅうたんにも化学物質を発散するものがあるので注意が必要。

家具や床に塗るワックス類には，化学物質を発散するものがあるので注意が必要。

防虫剤，芳香剤，消臭剤，洗剤なども発生剤となることがある。

化粧品，香水，整髪料なども影響することがある。

室内でタバコを吸うことは避けたほうが望ましい。

開放型ストーブ，排気を室内に出す暖房器具（ファンヒーター等）の使用は避け，排気を外部に出すもの（FF式ストーブ等）など室内空気の汚染が少ない暖房器具を使用することが望ましい。